

令和2年5月25日

平成31年度事業報告

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

埼玉労働局長登録教習機関
一般財団法人 江南クレーン教習所

平成31年(令和元年度)を振り返ったとき、秋には台風15号・19号とあいつで東日本を襲い大変大きな爪痕を残した。千葉では鉄塔が倒れ長い間停電に見舞われ、ゴルフ練習場の網を支える鉄柱が倒れ民家を直撃し、下敷きになった民家は屋根が壊れるとともに中に入ることさえできなかった。また、埼玉県でも大雨による川の氾濫によって床上浸水した家屋も数知れない状況であった。幸い江南クレーン教習所は、少し高まったところにあるため、クレーン棟に水が浸入したが事務棟には雨の被害も風の被害も全くなく、難を逃れることができた。10月には、消費税が8%から10%に引き上げられ消費の落ち込みもあったようである。当所でもクレーン・デリック(クレーン限定)免許の受講料金は据え置いたが消費税分だけは値上げを実施した。冬は記録的な暖冬で、雪国でもほとんど雪が降らずスキー場などは営業できずに終了したスキー場もあったようである。クレーン限定免許の実技教習は、前年比43人増で堅調であったが、建設業に関係が深い移動式クレーン実技教習、建設機械、玉掛け、小型移動式クレーンの各技能講習の落ち込みがみられた。安全教育では、平成31年4月にはフジクラダイアケーブル(株)で、フォークリフトの安全教育、向山工場(株)は4月、7月にもクレーン・玉掛けの安全教育を行った。この年は前年度から始まったフルハーネス型墜落制止器具の特別教育が多く実施され、出張講習の依頼も多かった。そのため600名以上の修了があった。出張講習では、加須市商工会、久喜菖蒲工業団地管理センターなどからも依頼があり実施した。古くなったトラック2台を売却した。フォークリフトも使用していないものは売却し、教室の椅子を新しく入れ替えた。また、中国で新型コロナウイルスによる肺炎が発生した。当初は遠い国での出来事と思っていたが今や世界中に広がってしまった。オリンピックをはじめプロ野球など様々なイベントが中止に追い込まれて、経済にも多大な影響を及ぼしている。当所でも3月になると講習のキャンセルが多くみられるようになった。4月6日に出された「緊急事態宣言」により当所でも4月11日から5月6日まで休業することとした。4月からクレーン・デリック(クレーン限定)免許をはじめ各種技能講習も講習料金を値上げした。関東安全衛生技術センターへの送迎バスも長年無料で運行していたが、バス代の高騰などにより、一人2,000円の負担をお願いするなど収支の改善を計ったが、1カ月弱の休業、受講のキャンセル等で収入が減少し経営に多大な悪影響が出ている。